

令和6年度 上松町 森林経営制度及び森林環境譲与税活用事業実施状況

(別紙)

令和7年11月

1 森林経営管理制度 市町村実施方針

別紙のとおり (上松町 森林経営管理制度実施方針)

2 森林環境譲与税導入の効果

- 田口団地では167.14haを設定し、23名に意向調査を実施した結果、22名 (164.25ha) が町への経営管理を希望。内75.11haが事業体に再委託され、その他は町管理の非経済林として森林整備を実行している。
- 灰沢団地では56.57haを設定し、17名に意向調査を実施した結果、16名 (56.33ha) が町への経営管理を希望。
- 事業体の希望がなく再委託に至らなかったが、町管理の非経済林として森林整備実施へ向けて、調査・計画を進めている。
- 天狗山団地では、31名に意向調査を実施した結果、21名 (5.621ha) が町への経営管理を希望。
- 瀬木・寝覚団地では地権者説明及び意向調査の準備を実施。このことにより、森林整備の推進が期待される。

3 森林環境譲与税の活用状況 (全体像)

区分	令和元年度～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額 (円)	64,663	21,261	85,924	65%	今後増加が予想される、町管理の森林整備に活用する予定。
譲与額 (円)	98,714	32,839	131,553		

※本表は年度末時点での実績のため継続事業は含まれません。仮に継続を含んだ場合は活用率は72%になります。

4 令和6年度 森林環境譲与税を活用した事業一覧

(1) 森林経営管理制度関係事業

事業区分	事業名	事業総額 (千円)			事業内容	実績	事業効果
		うち当該年度の森林環境譲与税 (千円)	うち基金取崩額 (千円)	うち他の財源 (千円)			
③私有林整備 (調査・測量・設計) 及び①森林所有者の意向調査の準備作業 (森林の現況把握、境界の確認・明確化等)	森林経営管理推進事業分担金	5,977	5,977	0	森林経営管理制度に基づく森林所有者の意向調査、森林の現況調査及び森林整備実施の調査業務委託並びに設計のため、木曾広域連合へ分担金として提出。	集積計画実施 (天狗山団地) 地権者説明実施 (瀬木団地) 地権者説明実施 (寝覚団地)	田口団地の町管理の非経済林の調査・測量・設計と並行して、森林整備事業を実施した。また灰沢団地は、再委託となる経済林がなく全て町管理の非経済林として、次年度以降より森林整備実施に向け準備中である。天狗山団地は制度と事業計画の説明会を開催。
③私有林整備	森林経営管理事業 (田口団地)	0	0	0	森林経営管理事業の内、町管理の非経済林の森林		R7より下流域からの補助対象編入につき、R6は事業実施を見送り。
小計		5,977	5,977	0			

(2) その他事業

事業区分	事業名	事業総額 (千円)			事業内容	実績	事業効果
		うち当該年度の森林環境譲与税 (千円)	うち基金取崩額 (千円)	うち他の財源 (千円)			
⑥林道・林業専用道の整備・維持修繕	任用職員報酬	5,880	5,880	0	林道の路肩の草刈・排水路の清掃・落枝・落葉・落石・倒木の除去等の他、森林整備・獣害対応等、業務拡大に伴い任用職員を任命して林道の維持管理から林業業務全般の補助を担っている。	14路線45km 猿の発信信号の追跡 放任果樹対応	維持管理を実施することにより、通行への支障を除去し、林道の拡大被害を未然に防止した。 獣害対応の補助業務を実施。
⑥林道・林業専用道の整備・維持修繕	林道改良等工事 (倉本線・山室線・巾ノ津線・藤久保線・近所線)	6,533	6,533	0	国・県等の補助事業採択に適用外の災害や、経年劣化による林道及び作業道の整備・開設や測量設計を実施。	5路線9か所 約647m	通常の維持管理では対応困難な修繕・工事により、通行に支障のあった路線の安全を確保した。 また緩衝帯整備用の作業道開設を実施した。
⑦その他 (間伐等の森林整備)	危険木伐採	2,871	2,871	0	ライフラインの維持のため、林道沿線の枯れた危険木の除去を実施。	対象木約20本	危険木を除去したことにより、倒木のほか落枝もなくなり、安全に通行できるようになった。
小計		15,284	15,284	0			
合計		21,261	21,261	0			

5 今後の実施計画

1 森林経営管理事業に基づく町管理分区域を毎年3～5haの森林整備を実施する。

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
区域名	-	田口団地	灰沢団地	天狗山団地	天狗山団地
施業内容	-	保育間伐他	保育間伐他	地捲え	植栽
面積(ha)	-	5.4ha	4.4ha	調査中	調査中
予定額(円)	-	-	-	-	-

※面積は未実測のため変動します。また予定額は入札のため非公表となります。

※R7年度補助金優遇措置獲得のためR6年度は先送りし事業は未実施。

2 近年増加傾向にある倒木・落枝等の危険木処理の他、獣害対策による緩衝帯整備 (非補助分) を状況に合わせて実施する。

3 森林整備施業に必要な林道の維持管理を毎年実施し、災害防止と安全な通行に寄与する。

事業区分表										
① 森林所有者の意向調査の準備作業 (森林の現況把握、境界の確認・明確化等)	⑪ 新たな組織の設立									
② 森林所有者の意向調査	⑫ その他 (人材育成・担い手の確保)									
③ 私有林整備	⑬ 木造公共建築物等の整備・内装木質化									
④ 公有林整備 (財産区有林含む)	⑭ 地域における木質バイオマス利用推進									
⑤ 森林保護対策	⑮ 森林・林業の意義や木材利用促進に関する普及活動等									
⑥ 林道・林業専用道の整備・維持修繕	⑯ その他 (木材利用・普及啓発関係)									
⑦ その他 (間伐等の森林整備)	⑰ 基金積立 (森林整備等)									
⑧ 担い手の確保に向けた取り組み	⑱ 基金積立 (人材育成等)									
⑨ 林業就業者の育成 (労働安全対策や林業機械の導入含む)	⑲ 基金積立 (木材利用等)									
⑩ 専門員の雇用	⑳ 基金積立 (執行残額等)									